

# NEWS LETTER

福井大学 男女共同参画推進センター第28号 R2.1発行

NEWS  
1

## 令和元年度 男女共同参画センターシンポジウムを開催しました

福井大学男女共同参画推進センターでは、男女共同参画推進及び研究者支援に関する啓発を目的として、毎年シンポジウムを開催しています。

今回は、「男性の参画」をテーマに令和元年11月21日(木)に開催され、45名の参加がありました。



シンポジウムでは、末 信一朗センター長による開会挨拶の後、名古屋大学大学院 田村哲樹氏による講演「どうして男性の変化が大切なのか-体験的男女共同参画論-」が行われました。

田村氏は名古屋大学男性教職員で初めて育児休業を取得した当時の話や海外での父子生活の様子など自身が経験した子育てを紹介するとともに、男性(父親)の家庭参画の重要性を述べられました。

「男性がいつまでも家庭において補助的な立場ではなく、“メイン”でやるのがとても大切。そもそも男女共同参画が“女性”問題である限り、男性は変化せず、ゆえに女性の状況も変わらない。また男性の昇進や昇格が優先される現状や女性のなかにも“男性=一家の稼ぎ主”という固定的な考えを持つ方が多いことも指摘し、男女ともに意識改革が必要である」とも述べられ参加者は熱心に聞き入っていました。



また、質疑応答にて「男性の家事育児参画を促すにはどうしたらよいか」と質問が挙がり、「実は女性が持っている“こだわり”(家事育児に関してこうであるべきというマイルール)をパートナーに押し付けることをやめること。相手のやり方を尊重することは自分の負担を軽くするとともに、相手にとっても家庭内での役割や責任、感謝を得ることになり、ワンオペからの脱却の一助にもなる」と、新しい視点でアドバイスがおくられました。

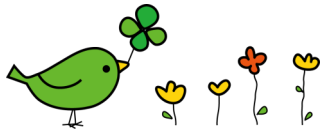
今後も男女共同参画推進センターでは、男女ともに自分らしく生きる社会の推進や、より働きやすい職場環境をつくるための意識啓発を行い、一般にも公開していきます。



## 女性研究者交流サロン(ランチミーティング)を開催しました

令和元年10月31日(木)にランチミーティングが開催され、教員、学生を含む7名の参加がありました。年代や所属、立場の異なる参加者が集い、日頃感じている悩みや自身の研究についてなど、幅広いテーマで話し合いが行われ、参加者同士の新しいつながりが生まれました。

なかでも、女性研究者が研究を続けていると、周囲から結婚や出産についてのプレッシャーを受けることが日本ではよくあるという意見があり、仕事と家庭の両立についてアドバイザーから実体験を交えた話がありました。アドバイザーからは、男女問わず仕事と家庭生活、育児や介護とを両立することはとても大変だが、家族や周囲のサポートを受け、研究や仕事を続けながら自分の人生を楽しんでほしいと参加者にエールが送られました。所属する学部にも女性研究者が少ない参加者も多く、専門分野を越えて交流を深めました。



男女共同参画推進センターでは、男女が互いに人権を尊重し、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会を目指し今後も引き続き啓発活動を行うとともに、本学教職員にとって有意義な交流の場を提供していきます。

## 令和2年度 研究支援者配置募集のお知らせ

ライフイベント期間中にある女性研究者が、出産や育児、介護等と研究活動を両立できるよう支援することを目的に、研究支援者の雇用等に係る経費の助成を行います。



利用期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

支援対象者：(子育て・介護中の)女性研究者・男性研究者※

募集締切：令和2年1月30日(木)まで

※応募対象者・申請及び選考方法等、詳しくは、「eoffice→お知らせ→【男女共同参画推進センター】令和2年度 研究支援者配置募集のお知らせ」をご覧ください。



## 令和2年度 病児保育施設等利用助成制度のお知らせ

女性研究者及び女性医員の研究活動、診療業務と育児の両立を支援するため、病気治療中又は病気回復期にある子を保育施設に預ける場合の利用料に対する費用の助成を行います。

※令和2年度は事前登録制から随時請求制に変更しました！事前登録なしで、利用した方からの助成申請を随時受け付けます。

受付期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

※ご利用時は必ず「eoffice→お知らせ→【男女共同参画推進センター】令和2年度 病児保育施設等利用助成制度のお知らせ」をご覧ください。

